



津別町
木質バイオマスによる地域熱供給

津別町の概要



人口推移



- 人口ピーク 昭和35年：15,676人
⇒ (現在) 令和7年4月：3,930人
- 高齢化率 令和7年4月：46.08%
- 総面積の約86%を森林が占め、林業・林産業が町の基幹産業を形成
- 同じく基幹産業である農業は、畑作・野菜・酪農・畜産があり、有機農業や特別栽培(減肥・減農薬)による循環型農業を実践

地域の宝



世界に誇れる木材加工業

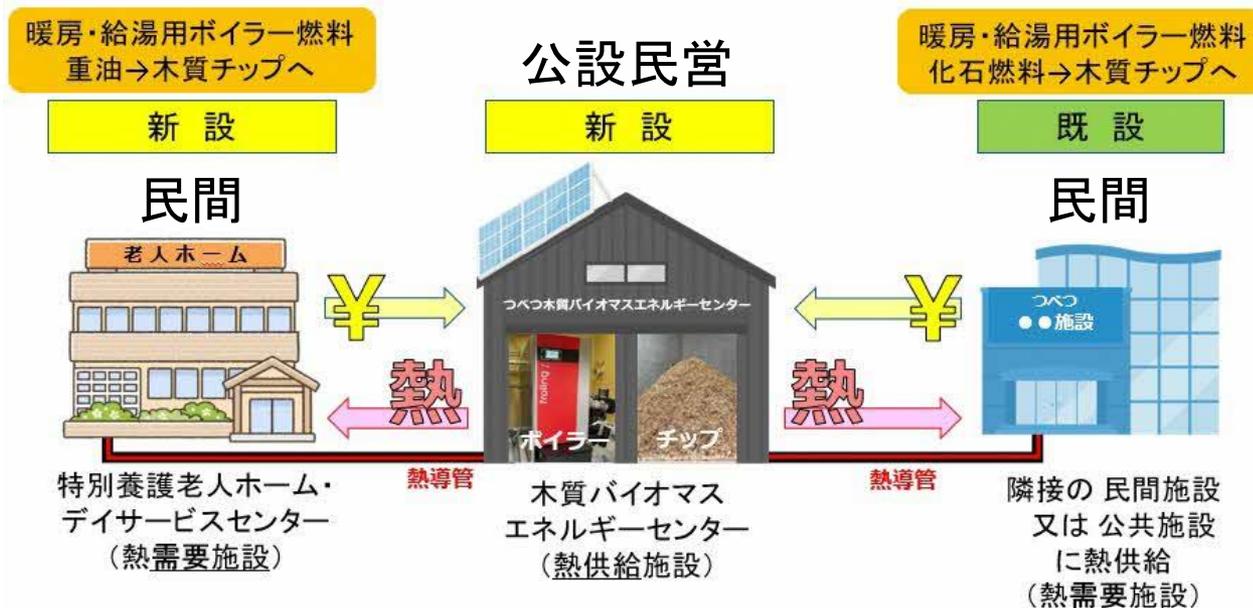


木質バイオマス地域熱供給について



- ◆ 町内の民間特別養護老人ホームおよびデイサービスセンター（以下「特養等」という。）の移転新築にあわせ、他の民間既存福祉施設とともに木質バイオマスによる熱エネルギーを24時間供給し、その熱を暖房・給湯に利用してもらう「地域熱供給」を行うものです。
- ◆ 熱供給には木質チップ燃料をメインに使用し、原料には地域資源である林地残材等を利用することで、環境保全およびエネルギーの地産地消を目指すものです。

熱供給事業 イメージ図



木質バイオマス地域熱供給について



木質バイオマスの先進地ヨーロッパでは、木質バイオマスによる地域熱供給が普及しておりますが、日本においては、化石燃料と比較して高額であるイニシャルコストおよび木材の安定供給において課題があり、導入は難しいと考えられておりました。

年間を通して熱の需要がある福祉施設へ熱を販売することで安定した収益を確保できる見込みがあること、豊富な森林資源があり安定した木材供給のある本町では、地域熱供給を行うことで脱炭素と経済面を両立できる取り組みを目指します。



森林資源



山に残された木材

熱エネルギー資源へ変換



収集



利用



木質バイオマスボイラー

脱炭素



ZERO CARBON
HOKKAIDO
TSUBETSU